

船舶事故等調査報告書

平成22年10月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第108号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年6月14日 06時30分ごろ	
発生場所	福岡県北九州市井ノ浦港 井ノ浦港防波堤灯台から真方位218°680m付近 (概位 北緯33°50.5′ 東経130°59.2′)	
事故等調査の経過	平成22年7月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 砂利運搬船 ^{しょうよう}松陽丸、498トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 134186、伸栄運輸商事株式会社</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、四級海技士（航海）</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 左舷側船底外板の中央から船尾にかけて擦過傷</p>	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか4人が乗り組み、石灰砕石約1,550トンを積載し、船首約3.7m、船尾約4.8mの喫水で、井ノ浦港内を航行中、平成22年6月14日06時30分ごろ、船尾付近に衝撃を感じた。</p> <p>本船は、着岸後に点検したが、異常がなかったため通常の航行を続けた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 南東、風力 3</p> <p>海象：平穏、潮汐 上げ潮の中央期</p>	
その他の事項	<p>井ノ浦港においては、井ノ浦港防波堤灯台付近から井ノ浦1号防波堤沿いに、水深の深い水路（水深約2.1～3.4m）が航路幅約100m、長さ約0.7海里で港奥まで続いている。</p> <p>水路の両側は、水深が約1.0～1.6mで、底質は泥である。</p> <p>船長は、井ノ浦港に10回以上の入港の経験があったが、以前にも船底が接触したように感じたことがあった。</p> <p>本船は、平成22年6月19日に造船所で上架されたところ、左舷側船底の中央から船尾にかけて擦過傷が発見された。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、井ノ浦港内を、井ノ浦1号防波堤に沿って航行中、船長が、港奥に向けるために左転したときに水深の浅い井ノ浦1号防波堤側に接近したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、井ノ浦港内を井ノ浦1号防波堤に沿って航行中、水深の浅い同防波堤側に接近したため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	